

国語科学習指導案

日 時 平成18年10月11日(水) 4校時

場 所 葛巻町立小屋瀬中学校 多目的ホール

学 級 3学年(男子10名 女子8名 計18名)

授業者 齋藤 剛

1 単元・教材名 話し合って考えを深めよう パネル・ディスカッション

2 単元・教材について

(1) 生徒の実態

「話すこと・聞くこと」の学習において、生徒たちは1学期に「相手を意識した話し方」というテーマで、情報を再構成し、相手にわかりやすいように説明するという事について学習をしてきた。また、国語以外でも総合的な学習の時間の中でのプレゼンテーションやポスターセッションなどの形での報告会・発表会を行い、スピーチの場面や話し合い活動の場面を多く設けてきた。これらの活動を通して、相手にわかりやすく話すにはどうしたらいいかということを中心に置いて進めてきた。

3年生は落ち着いた雰囲気の中で前向きに学習に取り組んでいるが、自分の考えなどを人前で発表するということが苦手で、原稿がないとスムーズに発表できないという生徒が多い。そのため話し合い活動などの中でも「話す」というよりも「読む」というような形になってしまう場面が多々ある。

また、日常の会話も少ない単語でのやりとりが多く、改まって「話す」となると言葉につまってしまう生徒も少なくない。今回の学習を通して、話すことの抵抗感を和らげ、豊かなコミュニケーション能力を身に付けさせたい。

(2) 主たる指導事項

今回は、「話し合って考えを深めよう」という学習を、パネル・ディスカッションを通して行う。そこで「根拠を明らかにしながら、筋道を立てて説明する力」を身に付けること、そして「話し合いを通して、テーマに対する自分の考えを深める」学習をする。

そのために、いくつかのテーマを設定し多くの生徒がパネリストを経験することによって、話すことの意味や価値を実感させたい。また、相手の意見を聞き、それに基づいてさらに自分の考えを深めさせたい。

(3) 指導にあたって

本教材では、話し合うテーマを決定するところから話し合いを始める。生徒が討論する価値を見いだせるような活動ができるように、中学校生活や日常の言語生活の中で、意見や立場の分かれる事柄を取り上げるように導き、生徒自らの視点でテーマを設定し、話すことを苦手としている生徒でも積極的に話し合いに参加できるように支援したい。そのために、テーマを自分の問題として考えさせておく必要がある。そこで司会者(教師)とパネリストとの事前の打ち合わせをしっかりと行い、パネリストの意見・要旨をフロアにも伝え、どんな質問をするかなどを考えさせておき、話すことを苦手とする生徒の不安感を取り除けるようにしたい。

また、パネル・ディスカッションは三つ以上の提案が並び立つことも多いが、ここでは、それらの中から一つの答えを導き出すということではなく、パネリストの意見交換によって明確になった論点について全員で議論を深め、選りすぐれた意見や提案を作り上げていくことをねらいとして活動を進めたい。

話し合い活動を行うことで他の意見や考えを受け入れることにより、今まで自分の考えていなかった新たな視点や根拠に気づき、今後、広い視野で物事を見たり考えたり、より豊かな言語活動を行えるように指導を工夫していきたい。

3 単元の指導目標

- ・話し合いに積極的に参加することを通して、話し合うことの意味や価値が実感できる。【関心・意欲・態度】
- ・根拠を明らかにしながら、筋道を立てて説明することができる。【話す・聞く】
- ・話し合いを通して、テーマに対する自分の考えを深めることができる。【話す・聞く】
- ・話す速度や音量、言葉の調子や間の採り方などに注意している。【言語事項】
- ・事象や行為などを表す多様な語句について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。【言語事項】

4 単元の指導計画と評価計画

時	主な学習活動	関心・意欲・態度	話す・聞く	言語事項
1	パネル・ディスカッションについて知る。 話し合いのテーマを決める。	日常生活について、感じていることや疑問に思っていることを発表している。		
2	テーマに対する意見を整理し、根拠となる事柄を調べ、パネリストを決める。	話し合いを成功させるために必要なことを準備している。	工夫して情報を収集し、具体的な事実や例などを根拠にして、説得力のある意見を述べている。	事象や行為などを表す多様な語句について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。
3	パネル・ディスカッションの準備、打ち合わせをする。	自分の役割をしっかりとらえ、話し合いを成功させるために必要なことを準備している。		
4	パネル・ディスカッション テーマ「略し言葉の是非」	メモをとったり、相手の話に視線を向けたりして、積極的に話し合いに参加している。	相手にわかりやすいように根拠を明らかにしながら意見を述べている。	話す速度や音量、言葉の調子や間の採り方などに注意している。
5	前時の活動をふり返る。 パネル・ディスカッションの準備を行う。	話し合いを成功させるために必要なことを準備している。	工夫して情報を収集し、具体的な事実や例などを根拠にして、説得力のある意見を述べている。	事象や行為などを表す多様な語句について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。
6	テーマに対する意見を整理し、根拠となる事柄を調べる。	話し合いを成功させるために必要なことを準備している。		
7 本時	パネル・ディスカッションを行う。	メモをとったり、相手の話に視線を向けたりして、積極的に話し合いに参加している。	相手にわかりやすいように根拠を明らかにしながら意見を述べている。	話す速度や音量、言葉の調子や間のとり方などに注意している。
8	パネル・ディスカッションをふり返る。		話し合いを通して、自分の考えていなかった新たな視点や根拠に気づき、テーマに関する考えを深めている。	

5 本時について

(1) 題材 話し合って考えを深めよう パネル・ディスカッション

(2) 指導目標

- ・話し合いに積極的に参加することで、話し合うことの意味や価値が実感できる。【関心・意欲・態度】
- ・ボランティアに対する意見を、根拠を明らかにしながら、わかりやすく説明することができる。【話す・聞く】
- ・話し合いを通して、ボランティアに対する自分の考えを深めることができる。【話す・聞く】
- ・パネリスト、フロアの役割をしっかりととらえ、話す速度や音量、言葉の調子や間のとり方などに注意している。【言語事項】

(3) 指導の構想

本時の学習では、「今、わたしにできるボランティア」というテーマを取り上げ、実際にパネル・ディスカッションを行う。

導入段階で進行計画を全体で確認し、本時の流れや自分の役割などを把握し展開に入る。司会は教師が行うので、生徒の役割はパネリストとフロア。パネリストには主に「わかりやすいように要素を整理した発表の仕方」として、根拠に基づき、筋道を立てて説明できるように支援したい。フロアの生徒には「複数の意見を整理しながら聞き、話題に沿った発言」ができるように支援していきたい。そこから、パネル・ディスカッションを通して自分の考えを深められるように進めていきたい。

3学年は自分の意見を発表することを苦手としている生徒が多いが、自分の思っていること・考えていることを積極的に発表できるような雰囲気作りにも努めたい。

自分の意見を述べたり友だちの意見を聞いたりする中で、それぞれ考えを深めたり広げたりできるように、生徒たちの中から多くの発言をさせながら学級全体での「学び合いの場」を作り上げていきたい。

(4) 具体の評価規準

指導目標	観点	A十分に満足できる	B概ね満足できる	C努力を要する生徒への支援
話し合いに積極的に参加することで、話し合うことの意味や価値が実感できる。	関・意・態	話し合いの価値を十分に理解し、他の意見を尊重し自分の意見を述べている。	自分の役割をしっかりととらえ、話し合いを成功させるために必要なことを準備している。	資料・学習プリントなどを示し、自分の役割をとらえさせる。
根拠を明らかにしながら、筋道を立てて説明することができる。	話す・聞く	具体的な事例や例、調査結果などを根拠にして、説得力のある意見を述べている。	相手にわりやすいように要素を整理しながら意見を述べている。	メモ・原稿を見ながら発表するよう助言する。
発言の際、論点を見失わないように留意し、協力し合いながら話し合いを進めることができる。	話す・聞く	対立する複数の意見を整理しながら聞き、より良い結論を求める姿勢で、話し合いに参加している。	話し合いの流れに沿って積極的に発言している。	司会（教師）が整理しながら発言できるよう支援する。

(5) 本時の展開

	学習内容	学び合う学習指導の工夫 学習形態	教師の支援・留意点 評価
導入 (5分)	1、学習課題の提示		
	話し合いに積極的に参加し、考えを深めあおう		
展開 (38分)	2、進行計画の確認	一斉指導	メモのとり方の確認
	3、パネル・ディスカッションを行う		パネリスト 結論を先に述べ、自分の立場を明確にさせる。 フロア パネリストの意見の要旨や気づいたことなどをワークシートにメモをとりながら意見を聞かせる。
	テーマ「今、わたしにできるボランティア」		司会 = 教師 必要に応じて意見などを要約する。 話し合いに積極的に参加することで、話し合うことの意味や価値が実感できる。 根拠を明らかにしながら、筋道を立てて説明することができる。 発言の際、論点を見失わないように留意し、協力し合いながら話し合いを進めることができる。
	司会者からのテーマ説明(2分)	各パネリストの意見・要旨を全体で確認する。	
パネリスト発表(2分×3人) ・事前打ち合わせで決めた順番で発表する。	パネリスト フロアに目を向けながら、わかりやすく意見を述べる。 フロア 発表者のほうに体を向けて、必要なことをメモしながら聴く。		
パネリストどうしの意見交換・補足説明(5分) ・パネリストどうしで質問をしあったり、補足説明したりする。	パネリスト どうしで考えを深める。 フロア 集中して聞き、全体討論に備える。		
全体での討論・意見交換(20分) ・これまでに出了意見についてフロアからも質問や意見を出し合う。	パネリスト・フロアで発表し合い、お互いに考えを深めあう。		
まとめ(5分)			
終末 (7分)	4、自己評価 5、本時のまとめ	一斉指導	・自己評価カード ・次の活動につなげる